

2014年11月22日長野県北部を震源とする地震の被害状況（速報）

Damages Caused by the Earthquake in Northern Nagano Prefecture
on November 22, 2014

梅崎 健夫

正会員

地盤工学会・土木学会地盤工学委員会 平成26年11月長野県北部を震源とする地震合同調査団長
信州大学工学部教授

河村 隆

正会員

地盤工学会・土木学会地盤工学委員会 平成26年11月長野県北部を震源とする地震合同調査団員（幹事長）
信州大学工学部助教

2014年11月22日（土）22時8

分頃、長野県北部を震源とする地震

（M6.7）が発生し、長野市戸隠、

長野市鬼無里、小谷村中小谷、小川村

高府で震度6弱、長野市箱清水、長野

市豊野町豊野、長野市中条、白馬村北

城、信濃町柏原東裏で震度5強など、

長野県北部地方の広い範囲で強い揺

れが観測された。

負傷者46名、全壊住家50棟、半壊住

家91棟、一部損壊住家1426棟の

被害（表1）のほか、道路・鉄道の通

行止（表2）や公共土木施設、農業・

林業施設にも大きな被害（表3）が生

じている。

土木学会と地盤工学会では、「地盤
工学部・土木学会地盤工学委員会平

成26年11月長野県北部を震

源とする地震合同調査団

を組織し、調査を開始した。

ここでは、被害の概略（図

1）と代表的な被害例（写真

1～19）について報告する。

謝辞：本調査の実施にあた

り、国土交通省、長野県、長

野市、小川村、白馬村、小谷

村の関係機関にご協力いた

だいた。また、長野県姫川

砂防事務所、長野市建設部、

長野市教育委員会より資料

をいただいた。ここに記し

て、関係各位に御礼申し上

げます。

表1 人的被害および住家被害の状況^(1,2)（※その他の市町村、地区を含む）

	市町村	長野市				小川村	白馬村	小谷村	合計※
		地区	全体※	第二、浅川、若槻	鬼無里				
人的被害 (人)	重傷者		2				4	3	10
	軽傷者		10			1	19	1	36
住家被害 (棟)	全壊		5		1	1	2	37	6
	半壊		25	1	23	1	11	22	27
	一部損壊		988	387	212	126	197	136	1426

表2 道路・鉄道の被害と復旧の状況⁽¹⁾

	道路	被害と復旧の状況	
		被害	復旧
道路	高速道路	坂城IC～信濃町IC、全面通行止	11/23 解除
	国道	148号、通行止	12/9 解除、片側交互通行
		406号、通行止	12/7 解除、片側交互通行
	県道	長野大町線（31号）、通行止	11/23 解除、片側交互通行
		白馬美麻線（33号）、通行止	迂回路有り、一部区間通行止
		川尻小谷糸魚川線（114号）、通行止	12/12 解除、片側交互通行
		信濃信州新線（36号）、通行止	11/28 解除、片側交互通行
		入山小市線（406号）、通行止	11/25 解除、片側交互通行
		飯綱高原芋井線（453号）、通行止	11/23 解除、片側交互通行
		長野戸隠線（76号）、通行止	12/4 解除、片側交互通行
奉納中土停車場線（330号）、通行止	12/20 現在、通行止		
鉄道	大系線	信濃大町～平岩間で不通、12/7 全面復旧	

表3 被害額⁽¹⁾

公共土木施設被害（下水道施設を含む）		約87億円（12/1 現在、速報値）
農業関係被害	農地・農業用施設被害	約21億円（12/5 現在、速報値）
	農水産物被害	約8,200万円（12/5 現在、速報値）
林業関係被害	林道施設被害	約1億円（12/8 現在、速報値）
	特用林産物関係被害	約450万円（12/15 現在、速報値）

UMEZAKI Takeo

1987年佐賀大学大学院理工学研究科土木工学専攻修士課程修了、九州大学工学部助手を経て、1993年より信州大学に勤務。2014年より現職。



KAWAMURA Takashi

1999年九州大学大学院工学研究科建設システム工学専攻修士課程修了、2000年より信州大学に勤務。2007年より現職。



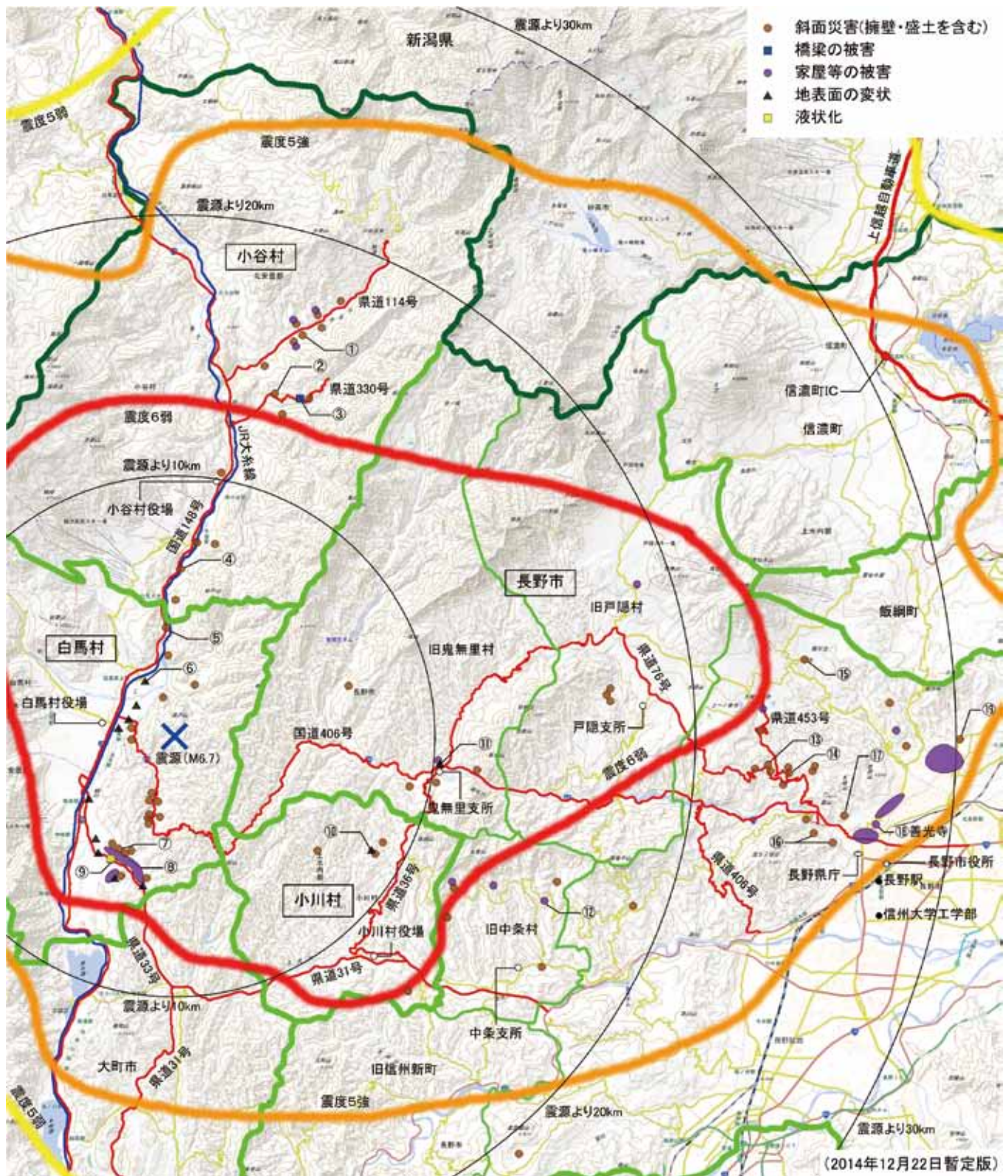


図1 長野県北部を震源とする地震（2014年11月）の被害の概略^(1~3) (国土地理院標準地図に加筆、震源と震度分布は気象庁推計震度分布図に基づく概略)

- 参考文献 (1) 長野県：長野県神城断層地震による県内の被害状況等（2014年12月20日15時00分現在）
 (2) 長野市：平成26年11月22日22時08分頃発生長野県神城断層地震による被害について（第12報2014年12月19日12時00分現在）
 (3) 長野県：長野県、国土交通省緊急災害派遣隊（TEC-FORCE）による土砂災害危険箇所の緊急点検結果について（2014年12月2日プレスリリース）



写真2 小谷村土谷川右岸 アンカーロッドの破断・引抜け
→図1②



写真1 小谷村中谷川左岸 かくれ沢の地すべり (幅170m、長さ200m) (撮影：富山県立
大学 島俊郎准教授) →図1①



写真4 小谷村千国 JR大糸線の土砂崩壊 (撮影：岐阜大学 能島暢呂教授) →図1④



写真3 小谷村土谷川 奉納大橋支承の変状→図1③



写真6 白馬村塩島 神城断層直上付近の地表面変状 (1m程度の段差) →図1⑥



写真5 白馬村立の間 国道148号の斜面崩壊
→図1⑤



写真8 白馬村堀之内 公民館の損壊とその前の墓石の転倒→図1⑧



写真7 白馬村堀之内 擁壁の転倒と裏込め土の崩壊→図1⑦



写真10 小川村瀬戸川 路面の段差 (撮影：千代
田コンサルタント 山浦直人氏) →図1⑩



写真9 白馬村堀之内 液状化によるマンホールの浮き上がり
と噴砂の跡→図1⑨



写真12 長野市中条 音楽堂裏の焼却炉のせん断破壊→図1⑫



写真11 長野市鬼無里中学校 校庭の亀裂 (提供：長野市教育委員会)、門柱の転倒→図1⑪



写真15 長野市中曽根 道路の段差 (長さ100m程度) →図1⑮



写真14 長野市芋井小中学校 石垣の崩壊→図1⑭



写真13 長野市広瀬 地すべりと道路の亀裂→図1⑬



写真17 長野市郷路山 土砂崩落の拡大と落石対策→図1⑰



写真16 長野市旭山麓裾花川右岸 土砂崩落の拡大→図1⑯



写真19 長野市若槻 蚊里田配水池事務所擁壁の亀裂 (長さ16m程度) →図1⑲



写真18 長野市善光寺 鐘楼基礎の崩壊と石灯籠の倒壊→図1⑱